

熱中症対策として低所得の高齢者世帯に エアコン購入及び設置の補助を求める請願

「主旨は充分理解する」 と言いつながら 請願採決には反対

厚生文教常任委員会で不採択に

凛風会・誠翔会・公明

「高齢者のいのちを守る施策の充実を」…山岡議員が主張

甲賀年金者組合と甲賀生活と健康を守る会から提出されていた「熱中症対策として高齢者世帯のエアコン購入及び設置に補助を求める請願」の審査が14日、付託された厚生文教常任委員会で行われました。審査に先立ち提出者の大原盾夫さんと門治さんから請願の願意を説明、岡田重美議員が紹介議員として再度請願の主旨をふまえて採択を求めました。

常任委員会での審査では、公明党の木村眞雄議員が「請願の主旨は理解できるが、対象者が具体的に示されないと判断できない」と、また誠翔会の戎脇浩議員も「願意はわかるが、この間のコロナや物価高騰による国の支援金を活用できないか」と発言。日本共産党の山岡光広議員が、請願の願意は、請願書に記されているように、熱中症対策として高齢者のいのちを守る施策を充実してほしい、ということであり、実際に甲賀消防署管内でも熱中症による救急搬送は昨年2倍。うち半数以上が高齢者であり、多くが居宅での熱中症であるだけに、エアコンを設置する施策を市として取り組むことは重要。議会として採択を」と求めました。これに対して凛風会の田中新人議員が「生活保護でエアコン補助がされている」などと述べ反対討論。採決の結果、賛成は山岡光広議員だけでした。傍聴した人々からは「主旨は理解するのなら賛成したらいいのに、市民目線でない議員は残念」と話していました。本会議での採決は、最終日30日の本会議です。

最終日の本会議で採決

9月定例議会は、8日から13日までの4日間一般質問が行われ、20人の議員が質問に立ちました。日本共産党の3名の議員は、新型コロナウイルスの感染対策強化、旧統一協会、地域別グランドデザイン、公共施設使用料見直し、国道1号線の道路補修と除草など、市政の問題点を質すとともに、要求実現を求めました。

西山 実議員



西山実議員は、コロナ第7波の感染拡大により、発熱外来に予約が殺到、対応

山岡光広議員



山岡光広議員は、いま市政を揺り動かしている世

岡田重美議員



岡田重美議員は、令和5年4月から公民館などの

できない状況を指摘し、体制強化を求めました。また、千葉県松戸市の取り組みを紹介し、市独自の対策を問いました。コロナ対策は、国や県において総合的に検討されるもの」との答弁でした。また、朝ご飯を食わずに登校する児童について、小学校低学年に欠食者が多いことを指摘し対策を求めました。また

地域別グランドデザインについては、長野県松本市の地域づくりの実践を紹介し、市のかかわりを強めるよう求めました。市職員もすっかり関わりながら課題解決に努める」との回答を得ました。さらに第四水口台市道崩落のその後について取り上げ、引き続き監視していく」との答弁でした

界平和統一家庭連合(旧統一協会)の霊感商法と政治家との癒着などについて質しました。市長は、国民の代表である政治家が旧統一協会と政治的に関りを持つべきではない」との立場を表明しました。新型コロナウイルス対策では特に、急増している自宅療養者の切実な要望をふまえて質問。

このなかで市として抗原検査キットを1300確保して緊急に備えていることを明らかにしました。また信楽高原鐵道が事故の記録をまとめた冊子の発行を公開停止とした社長(副市長)の経緯の説明を求めるとともに、会社として事故史を発行するべきだと求めました。

公共施設の使用料の見直しで「値上げ」が検討されていることについて、受益者負担の考えによる値上げは、市民の格差や分断を招き、活動意欲の低下につながる。使用料の値上げは止め、施設利用の促進に力を注ぐべきだ、と市の考えを質しました。信楽の準人川みずべ公園のトイレ

設置の必要性が高まっており、早急な設置を求めましたが、紫香楽宮跡史跡公園整備とリンクさせ考えたいと、これまでの答弁を繰り返しました。さらに南土山常明寺近くの不動橋の舗装の改善と、市道東土山線の道路整備について問いました。

日本共産党 甲賀市議員団ニュース 2022年 9月 18日 第418号	山岡 光広 甲南町森尻 16 Tel 86-2985 Fax 86-0415	岡田 重美 土山町南土山甲 78-15 Tel 66-0696 Fax 66-0696	西山 実 水口町本丸 3-28 Tel 62-3044 Fax 62-3044
	甲賀市議団のホームページ http://city-koka.jcp-web.net/		